



舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和8(2026)年1月8日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

学校HP



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、保護者・PTA役員の皆様、地域の皆様、ご関係の皆様には、本校教育に深いご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

今年も教職員一同、子どもたちのために誠心誠意努力する所存でございますので、引き続きご支援いただきますようよろしくお願ひいたします。

さて、2週間ぶりに子どもたちが登校し、本日3学期がスタートしました。年始には強い寒波による積雪もありましたが、わりと穏やかな天候に恵まれ、それぞれ気持ちを新たに令和8年を迎えたことだと思います。新年になり、清々しい笑顔で登校してきた子どもたちと出会い、そのやる気と笑顔を失わせることなく、子どもたちのよき伴走者としての責務に改めて気持ちを引き締めたところです。



節目を迎える

令和8年がスタートしました。今年は「午年（うまどし）」、さらに60年に一度の「丙午（ひのえうま）」の年です。干支の「午」は、十二支の7番目にあたり、太陽が最も高く昇る「正午」の時間帯を象徴しています。そのため、午年は「陽気」「情熱」「前進」「飛躍」といった、明るく力強いエネルギーに満ちた年とされています。馬のように一直線に駆け抜けるイメージから、「挑戦」や「成功」、「出世運」とも結びつけられています。また、今年は「丙午」。これは十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさったもので、「火の陽気さ」と「午の勢い」が重なる、非常にエネルギーッシュな年とされています。まさに、情熱が燃え上がるような一年であり、新しい挑戦をするには絶好のタイミングです。



さて、大きくまっすぐ伸びる植物といえば、「竹」が思い浮かびます。ロシアの作家アントン・チェーホフは、人生を「竹」に見立てて、「大きな出来事は竹の節であり、節と節の間に生きる連続こそが人生である。」と語ったそうです。竹は、他の植物に比べて成長が早いです。一般の樹木だと成長を主導する成長点は根や茎の先端にしかありませんが、竹はすべての節に成長点があるので、成長が早く、ぐんぐん大きくなっています。このことから“節目”的大切さを語るときに、竹の節に例えられるのです。

『3学期』は、大きな節目が2つあります。1つは、新しい年を迎えた節目。2つ目は、今の学年が修了し、進級、進学する節目です。2つともとても大切な節目です。つまり、大きく成長するタイミングなのです。チェーホフが語ったように、節と節の間に生きる学校生活の連続が、子どもたちに竹のような「しなやかで折れにくい強い心と体」を作っていくのです。それをしっかりと自覚しながら、短い3学期の貴重な一日一日を大切に、1年間の学習の成果が得られるような3学期にしたいと考えます。子どもたちがしっかりと“節”を作りながら、いろいろなことに積極的にチャレンジし、たくましく成長する中で、新しい学年や中学校への歩みを力強く進めていけるように精一杯努めてまいります。



今年も学校と保護者、地域の皆様が「子どもたちの成長」を真ん中に据え、同じ目線、同じ方向を向いて、共に歩んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

見守り隊の皆様 ~今年もご支援・ご協力をよろしくお願いします~

子どもたちの登下校を見守ってくださっている地域・保護者の皆様、いつもありがとうございます。本日から3学期が始まりました。今年も子どもたちの安全・安心のため、ご協力をどうぞよろしくお願ひいたします。

